

## 御嶽山噴火(2014年9月27日)と火山のリスク

2014年9月27日の午前11時52分頃、長野県と岐阜県の境にある御嶽山が突然噴火しました。この噴火で、死者・行方不明者63名という被害が発生しました。御嶽山のような登山者に人気のある山が活火山である可能性があります。火山が噴火した時には、下のような現象が突発的に起きる可能性があります。



### 噴火時に発生する火山現象

**大きな噴石**は、風の影響を受けてくじく、短時間で落下してきます。火口から概ね2~4km以内に飛来し、登山者等が死傷したり、建物が破壊されるなどの被害が発生します。



▲御嶽山:噴石で被災した建物(平成27年6月10日)  
(御嶽山合同観測班撮影)

**小さな噴石**は、火口から10km以上遠方まで風に流されて降下する場合もあり、あたりどころが悪ければ、人命にもかかわります。



▲雲仙岳:火山灰が舞い上がっている様子  
(島原市提供)

**火碎流**は高温の火山灰や火山岩塊などの火碎物と火山ガスと一緒にとなって高速で下流する現象です。流下速度は時速数十kmから百数十km、温度は数百°Cにも達し、通過域を焼失、埋没させます。



▲雲仙岳の火碎流(平成6年6月24日)

**火口や噴気孔から放出される火山ガス**には、硫化水素や二酸化硫黄などが含まれてあり、これらを吸い込むと、死に至ることもあります。空気より重いため、窪地や谷などに溜まっていることがあります。



▲三宅島:火山ガスの影響で枯れた木々  
(平成15年5月22日)

**融雪型火山泥流**は、積雪期に火碎流等の熱によって斜面の雪が融かされ、周辺の土砂や岩石を巻き込みながら高速で下流する現象です。流下速度は時速60kmを超えることもあります。広範囲に大規模な灾害を引き起こします。



▲十勝岳の融雪型火山泥流(大正15年5月24日)

### 準備品・装備品のチェック



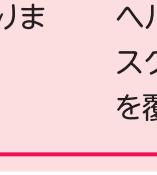
お問い合わせ先

内閣府(防災担当)調査・企画担当 〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 TEL.03-5253-2111(代)(内線51305)  
気象庁 地震火山部 火山課 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 TEL.03-3212-8341(代)(内線4526)

### 登山中の心得

～火山に登山をする際には、以下のようなことを心がけ、リスクを下げましょう～

- 何の前ぶれもなく噴火する可能性もあります。常に火口付近の様子に気を付けましょう!
- 噴気などの異常現象を発見した時は、安全な場所まで避難または下山するとともに、地元市町村や警察、気象台などに通報しましょう。
- 火山ガスは空気より重く、窪地や谷などに溜まっていることがあります。絶対に立ち入らないでください。
- 登山中は、携帯電話の電源はONにし、緊急速報メールや防災行政無線から流れる情報に注意しましょう。通信機器の電波が入りにくい場所もありますので、電波が届いているかどうか確認することも大切です。
- 噴火により、火口近傍には無数の大小の噴石が吹き飛ばされ、直接、生命や人体に被害を与えます。噴火に遭遇したら、直ちに火口から離れるとともに、近くの山小屋やシェルター、岩陰などの身を隠せる場所に避難しましょう。また、ヘルメット・ゴーグルを着用し、マスクや湿らせたタオルなどで口を覆いましょう。



NTTドコモ作成  
(https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/mountains/index.html)

準備品・装備品	火山に登る時の活用方法	チェック欄
火山防災マップ・火山ハザードマップ	火山現象の影響範囲や避難場所などを把握するのに活用	<input type="checkbox"/>
ヘルメット	噴石や火山灰から頭を守るために役立つ	<input type="checkbox"/>
ゴーグル	火山灰が目に入るのを防ぐ	<input type="checkbox"/>
タオル	口を押えて火山灰の吸引を防いだり、骨が折れたところを縛ったりと活躍	<input type="checkbox"/>
雨具(レインウェア)	雨や降ってくる火山灰を防ぐのに役立つ	<input type="checkbox"/>
ヘッドライト	火山灰で視界不良となった時に役立つ	<input type="checkbox"/>
携帯電話等の通信機器・予備電池	情報の入手や、通報・救助要請に使用	<input type="checkbox"/>
非常食・飲料水	救助を待つ間の食料・飲物となる	<input type="checkbox"/>
登山地図・コンパス	登山道や方向を見失っても下山する手助けとなる	<input type="checkbox"/>

※ここに上げた準備品・装備品は火山に登る時に必要なもののみをリストに載せています。

# 火山への登山のそなえ

火山は、私たちに多くの恵みを与えてくれています。

温泉、景観、湧水、豊かな土壤……

しかし、ひとたび噴火すると大きな災害をもたらします。

登山にそなえて、火山についてよく知ることが大切です。



おおむね過去1万年以内に噴火した火山、または現在活発な活動のある火山を活火山といいます。  
国内には110の活火山(△)があり、このうち33火山が日本百名山(▲)に選ばれています。